

消防だより



久米島消防
☎985-3281



第11回幼年消防クラブ合同交流会

10月7日(金)に幼年消防クラブ合同交流会が消防本部で行われました。

この交流会は、火災の発生しやすい時期を迎えるにあたり、幼年消防クラブ員相互の交流を深め、あわせて火災予防思想の一層の普及を図ることを目的とし、総勢166名のクラブ員が、綱引きやリレー大会、消防車見学などを行い、火災予防の意識向上に役立てることができました。



船舶火災防ぎよ訓練実施



10月30日(月)に、船舶火災訓練を実施しました。この訓練は、船舶火災に対する消防活動技術の向上と、乗組員及び地域住民への防火思想の高揚を図ることを目的に行われ、兼城港に接岸している「ニューくめしま」の調理室から出火、乗組員1名の確認が取れない想定で行われました。

船舶火災は、複雑な構造・狭い空間・積み荷などにより消火が難しい火災の一つです。初期消火や避難誘導など迅速な対応で訓練を終了しました。

※火災の早期発見と『逃げ遅れ』を防ぐために

住宅用火災警報器を設置しましょう。

※火事・救急・救助は119番へお願いします。

○消防法及び市町村条例(平成23年6月施行)により、すべての住宅に火災警報器が義務づけられました。

10月出動状況()は、平成28年累計

●救急…37件(348件)	●風水害…10件(10件)
●火災…0件(3件)	●捜索…0件(3件)
●救助…2件(7件)	●その他…10件(21件)
合計 59件(390件)	



島コンたいむす

輝く!島人インタビュー

第4回 久米島紬事業協同組合

山城 智子さん

移住定住相談窓口の「島ぐらしコンシェルジュ」が、輝く島人に島のことを色々教えてもらいます!

儀間出身。久米島紬事業協同組合副理事長・久米島紬伝統工芸士。

高校卒業後集団就職で名古屋・東京で働いた後、20代で島に戻る。結婚後役場の臨時職員などを経て、子育てが落ち着いた40歳の時に久米島紬の織り子養成に応募し、現在では伝統工芸士として活躍しています。



Q.織り子の大変さ・楽しさは?

久米島紬は分業がなく全行程一人でやるのですが、デザインを描いて、一本一本種糸にスミつけをする時や糸を括る時に、少しでもずれたら柄もずれてしまいます。でも織るのは自分だから自己責任です。最初から手を抜かないでやらないといけないので大変ですが、みんな緊張しながらも楽しく、笑顔で織っています。ユイマール館では、先輩達と一緒に作業したり、見たり、聞いたりしながら助け合って織り上げるので、夕方になるとおうちに帰りたくないくらい楽しいです。決して甘くない世界ですが、展示会などで自分が織った紬を着ている方に会えたりするのもとても嬉しいですね。

Q.久米島紬の魅力はなんですか?

久米島紬は自然の植物染料や土・泥で染めます。やってみてこれは宝の島だなと思って、島がより一層、大好きになった。森に入って染色の材料を採る時、植物が再生して枯れないようにあちこち残します。木の根っこでも若いのを残しておいたり、皮も一周取らないで少し残す。私も「いいの作るからちょっともらいますね、ごめんね」とひとり言を言いながら染料を採取します。

ここ数年は年齢的に織り子を辞めていく方も多く、入ってくるより辞める方が多くなってしまっています。泥染もやる人が少なくなって貴重になってくるので、自分でも「そろそろ泥染をやらないとなあ」と思うし、入ってくる人も増えてほしい。伝統が守られ、続いていって欲しいです。

今は子どもたちの授業で久米島紬を取り上げて、養蚕や糸づくりを教えたり、織るところを見せたり体験させたりしています。その中でひとりでも織り子になってくれたらという気持ちでやっています。子どもたちには、「久米島は

ありがとうございます!

もっと詳しく読みたい、他の方のインタビューも読みたい方は で検索

島コンニュース!

第3回部会会議を開催しました!

10月17日に行われた久米島町移住・定住推進アクションプラン策定委員会第3回部会会議では、「なぜ島の人口減少を食い止める必要があるのか?」をもう一度振り返り、「そのためにUターンして欲しい人材をどうすれば島に呼び寄せることができるか」を話し合いました。会議の詳細はHPでご報告していますのでご覧ください。

※お問合せ※

企画財政課 島ぐらしコンシェルジュ

HP: <http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索
Tel:985-7122 FAX:985-7080



少しずつ掲載情報も増えています!
求人・住宅情報登録のリクエストも受付中です!